

目的・背景

人口減少が進んでいることや交通や通信の不便に加え、コロナ禍以降は人の交流が希薄になってきている。移動手段や通信機器を持たない住民も増えつつあり、行政手続など、行政の方から出かけて住民サービスを提供することの必要性が高まっている。

事業概要

マルチタスク車両(MaaS車両)とStarlinkBusiness(低軌道衛星通信サービス)を導入し、行政施設外での行政サービスと、スムーズな通信環境を確保する。

今後の展望

マイナンバーカードの更新や行政手続きなど、移動行政窓口としての機能を活用

移動期日前投票所の開設

災害時の現場対策本部機能の活用

実施主体	江府町
実施場所	江府町内
活用技術	スターリンク、行政MaaS
支援事業	令和5年度「デジタル田園都市国家構想交付金」

車両で町民の自宅に向く

+

衛星通信でサービス拡大



載せて運ぶ

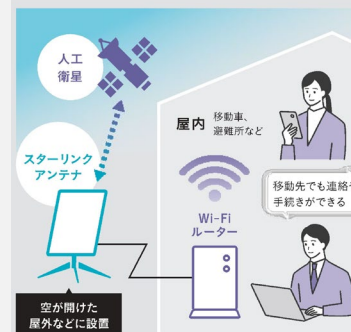
- 高さ: 502~735mm
- 重さ: 6.9kg
- 平均消費電力: 110~150W



車両と衛星通信の活用で目指すこと

- オンラインで話せる窓口
- オンライン診療
- オンラインでの行政手続き
- 健康相談 など



スムーズな通信環境を整え
自治体のニーズに応える

様々なシーンに応じた活用例

- 災害時の避難所で**
停電などで通信が滞る場合でも、有事に必要な情報収集や連絡ができる。
- 学校のオンライン授業で**
大人数が入る授業や通話でも、高速でスムーズにインターネットが使える。
- 土木作業の現場で**
山間部でも快適につながり、現場で撮った画像などを送信することもできる。